

令和3年度教員採用選考試験を振り返って

国士舘大学教職課程運営センター
センター長 辰野 文理

令和3年度の教員採用選考において、教員志望の学生たちは順調に歩みを進めています。ここに至るまで、指導や助言をいただきました楓教育会の先生方にはたいへんお世話になりました。ありがとうございました。

教職関係の指導は、昨年度から今年度にかけてコロナ禍の影響を大きく受けました。教育実習において対面指導が実施できない状況が続いたり、介護等体験においては代替措置を適用するといった対応を余儀なくされました。12月の赴任前実践力養成講座や2月の教員採用試験面接練習・研修会は、オンラインでの実施となりました。こうした中で、担当教員や教職支援アドバイザーの先生方には、オンラインのツールを駆使して、学生の抱える課題に適切に対応していただきました。

今年度は、感染対策をとりつつ、6月の教員採用試験面接練習研修会、8月の教員採用試験面接練習・研修会を対面で実施しました。採用試験に向けた面接練習等は、学生にとって具体的・実践的な演習の場となりました。ご協力いただきました先生方にはあらためて感謝申し上げます。

本学の教職課程においては、採用試験の対策にとどまらず、実際の学校現場で自信を持って振る舞えるよう実践的な指導を行っています。最近では、教育現場におけるICT活用の指導力向上も求められており、その対応を進めております。今後とも、本学の教職課程の運営に対しまして、かわらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年度教員採用選考試験面接練習・研修会を開催

平成28年12月21日の中央教育審議会答申を踏まえた、小学校学習指導要領は平成32年4月1日から、中学校学習指導要領は平成33年4月1日から、全面実施されています。

また、令和3年1月26日に、中央教育審議会は、全ての子どもたちの可能性を引き出すため、新しい時代の学校の姿を「令和の日本型学校教育」とし、予測不可能な未来社会を自立的に生き、社会の形成に参画するための資質・能力の育成に向け、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させると答申を示しました。緊急事態宣言などが発出される中、これらの中教審答申を踏まえ、令和3年度第2回面接練習・研修会、第3回面接練習・研修会、第4回面接練習・研修会が行われましたので報告します。

令和3年度 第2回面接練習・研修会 令和3年6月19日(土)

教職課程運営センター主催の第2回教員採用試験面接練習・研修会が世田谷キャンパス34号館の各教室で開催され、教員採用試験を目前に控えた4年生や卒業生など30人が参加しました。午前は集団面接(集団討論)、午後は個人面接を行いました。



開講式「人物重視の面接に対応しよう！」



「受験する自治体が求める即戦力とは！」



「求められる教師像とは、教師目線とは！」



「集団討論の司会を初体験。これからだ！」

《例：集団討論テーマ》

- ・〇〇県が求める「子ども像」をどのように捉え、道徳科を要とした道徳教育を通して、どのように実践していくか。校種、教科を踏まえ、具体的に話し合いなさい。
- ・2015年12月に発表された中央教育審議会答申では、「チーム学校」という考え方が示されました。あなたは、「チーム学校」として、どのような教育活動を展開しますか。

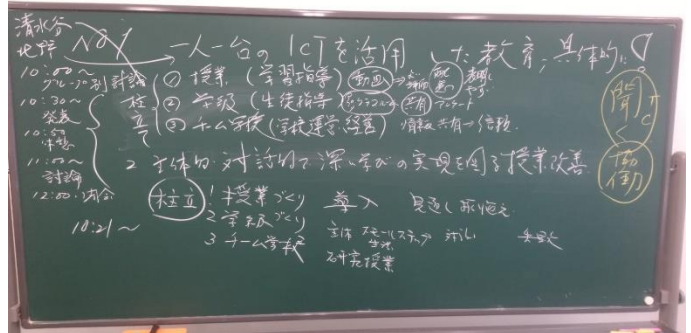
《例：個人面接》

- ・志願理由(志望動機、きっかけを含めて)を1分以内に、述べなさい。
- ・自己PR(自己紹介、強み・弱みを含めて)を1分以内に、述べなさい。
- ・大学生活での失敗体験は?このことを踏まえ、どんな教師を目指していますか?
- ・教室の片隅で泣いている生徒がいます。あなたは、どのように指導しますか?
- ・インクルーシブ教育システムの構築が求められています。どのように進めますか?
- ・「指導と評価の一体化」が求められています。あなたはどのように進めますか?

(国士舘大学ホームページより、一部引用)

令和3年度 第3回面接練習・研修会 令和3年7月24日(土)

教職課程運営センター主催の第3回教員採用試験面接練習・研修会が世田谷キャンパス34号館の各教室で開催され、第1次教員採用選考試験目前の4年生や卒業生など約40人が参加した。総仕上げ期として、午前は集団面接・討論、午後は個人面接を行った。



教師は「専門性・人間性」が問われます。集団討論は、背景・課題・解決策と述べます。



表現力・説得力・調整力・協調性が評価されます。個人面接では、「簡潔な言葉」で答えます。



個人面接練習の様子

集団討論の様子

《例：集団討論テーマ》

- (1) 一人一台のICTを活用したGIGAスクール構想について、話し合いなさい。
- (2) 「主体的・対話的で深い学び」の実現を図る授業改善について、話し合いなさい。

《例：個人面接》

- (1) 学級開きで生徒に話かけたい言葉は、何ですか？
- (2) 泣いている生徒がいました。あなたは、どのように対応しますか

(国士舘大学ホームページより、一部引用)

令和3年度 第4回面接練習・研修会 令和3年8月7日(土)

教職課程運営センター主催の第4回教員採用試験面接練習・研修会は、緊急事態宣言が発出される中、世田谷キャンパス34号館の各教室で、厳重な3密対策を行い、教員採用試験を目前に控えた4年生・卒業生を中心に約40人が参加しました。参加者は各班にそれぞれ分かれ、教職支援アドバイザーの各講師による指導のもと、個人面接・場面指導、集団討論・模擬授業を中心に教員採用試験を見据えた実践的な練習を実施しました。



模擬授業、本時のねらいを明確にしよう。



人生の中で最も使っていることは何か？



教職支援アドバイザーによる個人面接



事前に、しっかりと板書計画を立てよう。

《例：場面指導》

・あなたは、吹奏楽部の顧問です。他の先生から、「昼休みに吹奏楽部員が落葉掃きを主体的にしていた」と言われました。部活動前に吹奏楽部員に何を話しますか？

➡みんな、部活前に集まってくれてありがとう。他の先生から聞いたんだけど、落葉掃きをやってくれたんだね。➡褒める➡誰か企画したの？➡自主的にやってくれたんだね➡どうしてしようと思ったの？➡気持ちよく演奏したいから。

➡他のサッカー部やバレー部もやりたいと言っている➡何ができるかな？➡水場清掃、中庭掃除➡そしたら今度の部活会議で部長と一緒にサポートしてくれないかな？

《例：集団討論テーマ》

(1) 全ての子どもたちの可能性を引き出す、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体とした「令和の日本型学校教育」が求められています。話し合いなさい。

(2) 初任者研修会で、「明るく楽しい学級づくり」のために取り組むことを、研修会で発表することになった。意見をまとめなさい。

(国士舘大学ホームページより、一部引用)

「職層に応じて資質を高め、教育管理職を目指しましょう」

国士舘大学楓教育会 副会長 竹中 綺子

「東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標」

〈教育管理職に求められる能力や役割〉

- (1) 【校長】 教育者として高い識見をもち、広い視野で学校経営ができる力を身に付けるとともに、副校長等の人材育成についても責任をもつ。
- (2) 【副校長】 学校経営の視点で、組織目標の達成や人的管理ができる力を身に付けるとともに、所属職員の人材育成について責任をもつ。

〈教員に求められる能力や役割〉

- (3) 【主幹教諭】 ア 教育管理職候補：(教員11年目)
 - ①副校長として必要な学校運営ができる力を身に付ける。
 - ②自校の課題について、管理職の視点から解決策を立案できる。イ 主幹教諭：(教員11年目)
 - ①学校運営組織における中心的な役割を担う。②管理職を補佐し、教員を育成する。
- (4) 【指導教諭】：(教員11年目)：
 - ①高い専門性と優れた指導力を身に付け、都公立学校教員の全体の授業力の向上を図る。
- (5) 【主任教諭】：(充実期) (教員経験9年目～)
 - ①校務分掌等における学校運営上の重要な役割を担当する。
 - ②同僚や若手教員への指導的役割を担う。
- (6) 【教諭】(伸長期) (4年目～)
 - ①知識や経験に基づく実践力を高め、初任者等に助言する。
 - ②主任教諭を補佐し、文章組織の一員として貢献する。(基礎形成期) (1～3年目)
 - ①教員としての基礎的な力を身に付ける。
 - ②教職への使命感、教育公務員としての自覚を身に付ける。

「教育管理職の魅力ややりがい」 B選考合格 中学校副校長のコメントより

経営方針を踏まえ、その実現に向けて学校組織をどのように作り、どのように動かしていくのかを常に考えて仕事をしています。多くの保護者や地域の方々と連携して作り上げた教育活動により、生徒の成長や先生方の指導力、学校としての教育力が向上したと感じられた時に、管理職としてのやりがいを感じています。

「ずっと子供に関わっていたいから管理職にならない」ということをよく聞きます。そうではなく、管理職は、学校全ての子供達の成長を促すために学校経営を行います。自分の理想とする学校づくりを行えることは大きな魅力です。

Role Model Interview より

(平成29年7月 東京都教育委員会) より、引用)

真の教育者我が国士館に期待する

—令和の日本型学校教育の方向性—

国士館大学楓教育会

会長 田代 和正

新型コロナウイルス感染症が広がり、皆さんの日々の学生生活は一変しました。以前とは異なり、対面で学ぶ機会が少なくなり、スポーツや文化に触れる機会も制約されました。また、将来への不安やストレスを抱えている学生も多くいます。これまでも、私たち人類は、新型コロナウイルスのような新しい病気を経験してきました。そのたびに、世界中の研究者が病気の原因を探り、予防方法を見つけたり、薬の開発をしたりしてきました。そうして、私たちは「病気と共存していく」この歴史は繰り返されています。新型コロナウイルスも研究が進んで解明されれば、予防と治療ができるようになり、新たな共存生活が始まり、国士館大学の輝かしい学生生活が再興されると思います。

国士館大学楓教育会では、「学生のために」を設立理念として、東京楓会が35年目、全国組織として19年目、教職支援室8年目を迎えました。また、母校国士館大学の発展、充実のため教職を目指す学生に教員として教育現場で直ぐにでも教壇に立てる指導力のある学生の育成に努めております。特に、難関である教員採用試験の中心課題である論文、面接、集団討論、模擬授業の実践指導をし、さらに合格者に対しては、本校卒業生の管理職を通して教育委員会の働きかけによる就職先の確保などの支援を具体的に実施しています。

さて、令和3年1月に中央教育審議会から『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」という答申が出されました。すべての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びを一体とした教育改革が進められています。一人一人の子供が主語になる学校づくりは、一人一人の教師も主語となり、その職責を粘り強く完遂することが求められています。「教育は人なり」と言われるように、「生きる力」の育成や学校教育を巡る様々な課題に対応するため、「優れた専門性、教育者としての使命感・情熱、豊かな人間性」を備えた魅力ある人物を求めています。教員の職務は、子供の心身の発達にかかわっており、その活動は、子供の人格形成に大きな影響を与えます。毎日子供と関わる中で、教員は自分の人間としての在り方をさらけ出すこととなります。したがって、教員として求められているものは、知識・技能を含めた総合的な人間力と言えます。今まで身につけてきた、またこれから身につける教養や知識、高度な専門性は、豊かな人間性に支えられてはじめて生きるからです。今、社会で求められている力は、「基礎学力」「専門知識」に加え、それらをうまく活用し、「多様な人々とともに仕事を行っていく上で必要な基礎的な能力＝社会人基礎力」と言われるものです。

教職を志す皆さんは、国士館大学の教育理念である久遠の「建学の精神」と「誠意・勤労・見識・気魄」の涵養を教育理念に兼ね備え、真の教育者として、これからの日本の教育に貢献することを期待します。

編集後記

楓教育会創立以来、ご指導頂きました西山一行先生が7月、ご逝去されました。ご冥福をお祈りいたします。なお、家族葬で終わられているとのこと。



